

2020.7月発行

第29号

陽

だ

ま

り

通

信

NPO 法人 陽だまり

〒506-0059 高山市下林町 966-1
電話 0577-36-6520 (FAX 兼用)

ホームページ <https://gh-hida.jp/>

グループホーム陽だまり高山市

検索

コロナに負けず、頑張っています。

今年2月頃から、しだいに感染拡大がみられた「新型コロナウイルス感染症」ですが、日本だけでなく、世界中いたる所の国で拡大がみられ、多くの人々が同時に脅威を感じるコロナ禍となりました。幸い、当飛騨地方は、感染者の発表はなく、ありがたい限りです。日々利用者さんに関わる職員は、ひたすら感染予防に努めながら、利用者さんが安心安楽な生活を送っていただけるよう努め、利用者の皆さんも精いっぱい協力してくださいました。



従来ですと、春の季節は気候がよく、お雛様めぐりやお花見、新緑浴等、お弁当等持つて全員でお出かけすることが多い季節ですが、それも叶わず、陽だまりへ来てくださる音楽療法士の方々やボランティアで来てくださる皆さんも、いずれも来訪を差し控えていただき、多くの楽しみが失われてしまいました。もっぱら、室内で出来る遊びや作品作り、生け花等の他、気分転換も兼ねて散歩に出たり、ドライブに行く等して過ごしました。



右側写真は、外出自粛期間中、寄贈された物品です。布マスクは、ボランティアでよく来てくださる方の手作りマスクです。その他、高山市や社会福祉協議会を通じて、不布マスクやお菓子、飲物等もいただきました。

左側写真は、職員が玄関のドアノブを消毒している様子です。定期的な多数の方が触れる所の消毒や換気。利用者さんも、石鹼でこまめに手洗い等をしてくださいました。

お花や自然に触れたり、好きな事をされ、心を満たしてみえます。(セルフケア)



外の空気に触れたいと、居間の横のベランダへ。そばの畠の作物を見たり、奥に広がる山や生茂る樹木を見たり…。ご本人にとって、お好きな場所のようです。

今見る景色を通して、遙か昔の小さかった自分の生活…時には、畠仕事を手伝った時の事を思い出したり…。そばに職員が行くと、話してくださいます。



自室に飾る花を生けたり、玄関前のプランタに花苗を植え、水やりや、枯れ花取りをして、お手入れしてください。花は皆さん大好きです。



「何かやりたいな。」と思われる時は、好きな折り紙で、鶴を折ったり、切り絵をしたりされてみえます。自室でやったり、居間へ持ってきて、他の方とテレビを観ながらやつたりと。他の方が欲しいと言われれば、あげたりされてみえます。

手先が器用なので、細かい作業も、お手の物です。

令和2年1月21日 「愛のともしひ基金」を活用し、車輛本体価格の半額分の補助を受けて、車両一台を購入しました。(トヨタ・ルーミー)



購入した車両は、利用者さんの急な受診や買物、その他お花見等のお出かけ時等、利用者さんの生活に沿って、大切に使用させていただきます。

また、平成17年4月より使用していた軽車両のバモスも、利用者の皆さんとの外出支援等で使用しておりましたが、使用年数が経過したことから、安全を考慮して、廃車といたしました。

ケアマネ担当者のご紹介

前任者が退職後、ケアマネ業務を担当している

たけごしきよこ
竹腰清子です。



(左側)

グループホームのケアマネは初めての経験ですが、やむなく、こうした施設入居となられた方々が、「楽しかった。」「ここでの生活が、よかった。」と一瞬でも感じていただけるような計画・かかわりをと思っております。どうか、思いやご意見等ありましたら、教えてくださいますようお願いします。

あとがき

ご家族様 地域の皆様 ボランティア団体の方々には、新型コロナウイルスの対応に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。幸い高山市の感染者は0人のままで、これも医療機関や行政機関等の皆様のおかげだと感謝申しあげます。第2波 第3波に備え、職員一同気を緩めることなく、これからも、利用者様に「安全」「安心」「快適」に過ごしていただけるよう努めてまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申しあげます。

グループホーム 陽だまり 管理者 山本 憲久